

# 「全国コットンサミット in 岸和田」参加者アンケート」 集 計 結 果

実施日:2011年5月21日「全国コットンサミットイン岸和田」開催終了後

\* アンケート回収件数 81件

## 問1. 第一部:近藤健一とコシノユマの幸せトーク についていかがでしたか

選択肢	回答数	割合
大変よかった	28	34.6%
よかった	37	45.7%
普通	10	12.3%
あまりよくなかった	3	3.7%
悪かった	0	0.0%
無回答	3	3.7%
計	81	100.0%

⇒「よかった」とする回答が約半分を占め最も多く、次いで「大変よかった」が約3割となった。

## 問2. 第二部:全体としての感想はいかがでしたか

選択肢	回答数	割合
大変よかった	46	56.8%
よかった	28	34.6%
普通	2	2.5%
あまりよくなかった	1	1.2%
悪かった	0	0.0%
無回答	4	4.9%
計	81	100.0%

⇒「大変よかった」が過半数を超えた。

### 問3. 第二部:興味をもった報告をご記入ください

第1順位で選択		
選択肢	回答数	割合
タビオ奈良	30	48.4%
西脇市コットンボール銀行	14	22.6%
信州大学	6	9.7%
境港市農業公社	4	6.5%
伯州綿	4	6.5%
北海道小樽市	1	1.6%
夢つむぎ会	1	1.6%
村上メリヤス	1	1.6%
こっとなふあーむ花畑鮮花	1	1.6%
無回答	19	30.6%
計	62	100.0%

第2順位で選択		
選択肢	回答数	割合
西脇市コットンボール銀行	17	21.0%
タビオ奈良	6	7.4%
伯州綿	5	6.2%
境港市農業公社	4	4.9%
夢つむぎ会	5	6.2%
村上メリヤス	3	3.7%
信州大学	1	1.2%
北海道小樽市	1	1.2%
こっとなふあーむ花畑鮮花	1	1.2%
河内コットンロード	1	1.2%
奈良県広陵町	1	1.2%
無回答	36	44.4%
計	81	100.0%

⇒第1順位では約半数が、「タビオ奈良」越智会長のプレゼンテーションを挙げている。第2位は「西脇市コットンボール銀行」が続いた。

#### 問4. 取組みへの評価はいかがでしたか

選択肢	回答数	割合
大変よかった	48	59.3%
よかった	24	29.6%
普通	1	1.2%
あまりよくなかった	0	0.0%
悪かった	0	0.0%
無回答	8	9.9%
計	81	100.0%

⇒「大変よかった」との回答が過半数を占め最も多く、次いで「よかった」が3割となった。

#### 問5. 取組みの継続について

選択肢	回答数	割合
今後も継続すべき	71	87.7%
わからない	4	4.9%
継続すべきではない	0	0.0%
無回答	6	7.4%
計	81	100.0%

⇒「今後も継続すべき」とする回答が87.7%と多数を占めた。

## 問1. 第一部:近藤健一とコシノユマの幸せトーク についていかがでしたか

- ・化学繊維に押された天然繊維の綿の良さを伝えていたこと
- ・世界の綿事情と日本の綿花栽培の可能性について理解した
- ・人を温かく包みこむトークでした
- ・世界のコットン栽培状況や、オーガニックの良さを再認識した
- ・東北で綿花栽培により塩害を軽減し、元の畑に戻せたら、すばらしい、マスコミなどが広めるべき
- ・綿が東北を元気づける
- ・他の地域の報告が、新たな発想や気づきになった
- ・近藤氏のロマンを感じた
- ・オーガニックコットンの長所がわかった
- ・コットンに対する想いが伝わる
- ・オーガニックの話聞いて有意義、安全性のデータを知りたい
- ・サウジアラビア地方には良好な綿がとれるので、日本での展開も可能だろう
- ・震災復興への具体的な話が良かった、実現できそうですね
- ・近藤氏の話をもっと聞きたかった
- ・全国の綿花栽培の活動やオーガニックコットンの情報が聞けたこと
- ・内容は良かったが、40分は長かった
- ・モノづくりとしてのコットンの可能性についてもっと聞きたかった
- ・地場産業としてのコットン価値を認識できた
- ・コシノユマさんからみた日本、特に綿のものづくりに対する考え方を聞いて参考になった
- ・綿の栽培からデザイナーへのつながりへと続く、取組みによって来年の東日本の笑顔につながればと思います
- ・日本、世界の綿花生産状況がよく理解できた、コシノユマさんの人柄に触れ、今後の活躍を応援したいと思った
- ・塩害に悩む東北に綿花栽培をうながす方法は大変面白い
- ・東北での綿花栽培はよいアイデアである
- ・趣味からファッションにつながる
- ・「カーネーション」の話がきけて
- ・家族のきずなを再確認
- ・震災対して綿花を通じた支援ができることが有意義だと感じる
- ・綿製品の良さを実感した
- ・未来に向けて綿花栽培からアパレルへつながる気がした
  
- ・テーマを絞ってほしかった

- ・焦点を絞ったほうがよいと感じた
- ・農業と綿作の実現性（東北地域）は難しい、綿について本質を話してほしかった

## 問2. 第二部:全体としての感想はいかがでしたか

- ・ 取組みの熱意が感じられた、連帯感が感じられ、今後への励みとなった
  - ・ 各地の繊維産業の取組みの熱心さに期待したい
  - ・ 全国の栽培状況を聞いたこと
  - ・ 日本ならではのものづくり
  - ・ 全国の栽培状況などが分かった、綿で地域おこしを考えているところが素晴らしい
  - ・ 各地域が頑張る姿を知った
  - ・ 東日本復興のために綿花栽培ができれば、復興の一助になる
  - ・ 全国の活動を知ることが自分の活動の参考となった
  - ・ あまり情報が出ていない、綿化に関する企業や取組みを知ったこと
  - ・ 各地の綿花栽培の活動を聞いて、有意義であった
  - ・ 講師と参加者との雰囲気がよかった
  - ・ 国内綿花栽培の状況がわかった
  - ・ 伝統的な綿花栽培、今後の課題、あわせて地域活性化について報告を聞き、感動した
  - ・ 綿を作る意義がわかりました
  - ・ いろいろな立場の話がきけてよかった
  - ・ 各地の取り組み具合が参考になった
  - ・ コットンにこれまで以上に興味がわいた
  - ・ 全国各地の取組みを知り、綿に携わる者として喜びを感じた
  - ・ 北海道での綿花栽培に感心した
  - ・ 各地の生の声がきけた
  - ・ 各地の活動、問題点が聞けた
  - ・ 綿花に夢や希望がつまっている
  - ・ 全国のコットンへの取組みが紹介され良かった
  - ・ 取組み地域の情報がよくわかった
  - ・ 団体ごとの取組みが参考となる
  - ・ 地域ごとの綿に対する想いがわかった
  - ・ 皆ががんばっていることが素晴らしい
  - ・ 栽培経験者の話が聞けた
  - ・ 苦労話が参考になった
- 
- ・ 事例を聞いた、紙の資料がほしかった
  - ・ 地域の自慢など綿花に関係ない話が多い
  - ・ 進行が間延びした
  - ・ 時間が長い、冊子でもあるとわかりやすい

### 問3. 第二部:興味をもった報告をご記入ください

#### タビオ奈良

- ・復興支援手段で綿花栽培が役に立つことを知った
- ・塩害地域に綿花を植える構想が良かった
- ・綿で東北の復興には、賛成である
- ・取組みの趣旨はすばらしい、今後をききたい
- ・マスコミがもっと伝えるべき、カーネーションも塩害に強いとは知らなかった
- ・越智会長の提案に感動した
- ・塩害地域での綿作を応援したい
- ・綿による被災地支援ができることを知ったこと
- ・塩害における綿花の役立て方法について
- ・綿花栽培で塩害が緩和できると知り、企業活動を進めていることが尊敬できる
- ・震災復興に行動していること
- ・被災地の状況がわかり、綿花栽培の必要性を感じた
- ・熱い思いに感服した
- ・東日本大震災復興支援としての綿花栽培を成功してほしい
- ・綿花栽培が趣味でなく、災害復興に貢献できること
- ・綿花栽培による被災地支援に共感
- ・東日本大震災への対応に感動した
- ・綿花栽培が震災に協力できる可能性を知った
- ・被災地における栽培
- ・被災地支援を実現できれば
- ・綿花が塩に強いとは、東北で育つといいですね
- ・熱意が伝わる、今後ネットワークが広がる
- ・被災地支援につながる
- ・栽培北限と塩耐性の試験結果を知りたい
- ・塩害農地への綿花栽培は素晴らしい

#### 西脇市コットンボール銀行

- ・若者の参画がよかった
- ・一度、西脇市を訪れたい
- ・VTR等で具体的に説明し、若者の未来がみられた
- ・若い人が収穫、製品づくりをしていること
- ・栽培から製品化まで地元でできるのは素晴らしい

- ・「綿産地に綿畑がない」、このコメントが衝撃的だった
- ・織物産地との協力を得て楽しく取り組む姿勢がよい
- ・若い人が楽しそうである
- ・若い人の前向きな姿がよかった
- ・若手とシルバーとの協働
- ・1999年に全国的なサミットを開催していることを知った

### 信州大学

- ・数字に基づく学術研究に期待したいから
- ・科学的な根拠で製品を表現できる
- ・技術者養成を期待したい
- ・大学らしい自由な取組みがよい
- ・綿の特性を数字で表すことは重要

### 境港市農業公社

- ・荒廃農地 15 千㎡の活用で、伯州綿の復活に取り組む姿勢が素晴らしい新商品開発も楽しみである
- ・具体的な生産量が報告され、興味を持てた
- ・市が率先して取り組むことがうらやましい

### 伯州綿

- ・わかりやすく理解できた
- ・国産綿の栽培、見学したい
- ・国産綿の製品化に興味あり
- ・地域活性化を自治体が行っていることに興味を持った

#### 問4. 取組みへの評価はいかがでしたか

- ・ 全国の栽培関係者と交流できる機会は貴重である
- ・ 全国各地から多くの方々の参加があったこと
- ・ 報告を聞き、やる気が出た
- ・ 各地の活動が力を合わせた繊維産業発展に期待したい
- ・ 新たな事業創造につながる
- ・ 点から線に、おおきなうねりに期待します
- ・ 他の地域を知り、自分への励みとなる
- ・ 第一回目で報告者数があれだけあったのは、すごい
- ・ 商業的な成功よりも、文化、保存で進めたい
- ・ 産業、文化、交流ができる
- ・ 個人では活動に限界がある、社会的にメッセージを送ることに大きな意味がある
- ・ 多様な価値観を意見交換できる場は大きな意義がある
- ・ 綿花栽培をする者にとり励みになる
- ・ 綿花栽培に熱い情熱をもっていること
- ・ 連携は大きな力に
- ・ 日本全国に広がり期待する
- ・ それぞれの活動例、問題手をもって、相互の刺激となる
- ・ 自分たちの活動の意味がわかった
- ・ 意見交換ができてよかった
- ・ 一次産業と繊維産業の関わりを再認識した
- ・ 商業規模は小さいが地域循環型の仕組みは必要
- ・ 全国の取組みや成果物の展示が良かった
- ・ きしわたの会で活動していますが、今回の他地域の報告ははげましになった、岸和田開催スタートは誇らしい
- ・ 第一回ということで、まず前進したこと
- ・ 織物業者ですが、勇気づけられた、擬態的な話が良かった
- ・ 一過性でない取組みにしたい
- ・ 「地域おこし」を視点にしたサミットは意義がある
- ・ 各地の課題が共通化しているように感じる
- ・ 全国の取組みを聞いてよかった
- ・ 最後まで席を立つ人がいず、すごい
- ・ 情報交換がかなり役立った

## 問5. 取組みの継続について

### 「継続すべき」理由

- ・ 情報交換を継続すべき
- ・ こんなに楽しいサミットは続けたい
- ・ ボランティアから商業レベルへのアップ
- ・ 取組みを連携させることが必要
- ・ メイドインジャパンの為に努力を続けてほしい
- ・ 日本再生につながる
- ・ 地域活性化につながる伝統産業の復活、人材育成は必要、そのため全国のつながりをもつことは有意義である
- ・ サミットをきっかけに、綿の取組みが見直される
- ・ 繊維全般の活性化につながる
- ・ これを機会に、「衣」に対する価値観の変革につながればよい
- ・ 人材育成、産業など分科会に分けた話し合いが望まれる
- ・ 同業他社、異業種間での繊維産業について知識を深めあうのは、貴重な場である
- ・ 情報交換や人材ネットワーク構築ができてよい
- ・ 全国に活動が広がってほしい
- ・ 活動の連携が必要
- ・ 継続することで各地の状況を互いに確認できる
- ・ 綿花栽培が継続されると実感した
- ・ 年一回でも報告会があればいい
- ・ 交流の場が他にないので、
- ・ 世界的な食糧、穀物不足が懸念されるなか、教育的な見地に留まらず、原料からものづくりを見直すことは必要
- ・ 今後の継続状況を聞きたい
- ・ コットン業界を一般の人へ普及すること、交流促進を期待する
- ・ 成長を期待できる
- ・ 各地の協力が必要である
- ・ 北海道から九州まで綿花栽培が盛んになることを期待する
- ・ 高速の綿繰り機の開発を急いでほしい
- ・ 継続してほしい
- ・ 五風荘建築には10年かかったそうなので、そのような長期戦が必要です

### 「わからない」理由

- ・ 方向性がみえない、村おこしや伝統工芸品を目指すように感じる

[ 参考 ]

## コットンサミット 参加者アンケート

### 1. 第一部：近藤健一とコシノユマの幸せトーク

1. 大変よかった
2. よかった
3. 普通
4. あまりよくなかった
5. 悪かった

理由

### 第二部：全国各地の取組み報告

#### 2. 全体としての感想

1. 大変よかった
2. よかった
3. 普通
4. あまりよくなかった
5. 悪かった

理由

#### 3. 興味を持った報告 2 件

3-1 「記入」

意見・感想

3-2 「記入」

意見・感想

#### 4. 今回の取組みに対する意見

1. 大変よかった
2. よかった
3. 普通
4. あまりよくなかった
5. 悪かった

理由

**5. 今後、このような取組み継続すべきか**

1. 今後も継続すべき
2. わからない
3. 継続すべきではない

理由

**6. 意見・感想**